

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

ハートフル・ワード (心からの言葉)

経営者への活きた言葉

原点 (幸せな時間を過ごしていただく) は崩さない 上西 京一郎 (オリエンタルランド社長)

1. 東京ディズニーリゾート (TDR) の快進撃が止まらない。2012 年度の入場者数は、東京ディズニーランド (TDL) と東京ディズニーシー (TDS) の合計で 2750 万人を記録。過去最高だった開業 25 周年の 2008 年度 2722 万人を 4 年ぶりに更新した。開業 30 周年イベントを通年で行う今 2013 年度は、2900 万人台に乗るという見方もある。
2. TDR の事業価値は、幸せな時間を過ごしていただくのが原点。それは開業以来同じだ。ハード、ソフト両面で、いかにハピネス (幸せ) を感じてもらうか。どうホスピタリティを提供するか。そう考えながら投資し、施策を打ってきた。人間には本質的にハピネスを感じたいという欲求がある。その琴線に触れるよう試行錯誤を続けてきたことが、入場者数の増加にもつながったのだろう。
3. たとえば、パーク内のパレード。当初は皆さんが沿道で静粛に見ていたのが、この 30 年で、見るだけじゃ物足りない、自分も参加したいという欲求が、若い人から高まってきた。また、ゲスト (入場者) に水をかける夏のイベント。開業当初に行っていたら、ひんしゆくを買っていたと思う。日本人の楽しみが変わる中で、原点は崩さず、お客様の期待をキャッチアップし、具現化することを繰り返してきたことが今につながっている。

(参考:「週刊東洋経済」2013 年 4 月 20 日号)

幹部への活きた言葉

「自分の現場」との思いが希薄

隈 研吾 (建築家・東京大学教授)

1. 4 月に新開場した歌舞伎座 (東京・東銀座) の建て替えをやりました。歴史、技術、経済力、人材に恵まれた日本ならではの仕事でした。しかし、世界中の現場と比較すると、これだけ恵まれている国なのに、どうも元気がありません。大きな理由は「現場なきサラリーマン」の増加ではないか、と思っています。
2. 例えば、建物を建てる場合、日本の担当者はまず法令や規制、社内の規定から考え始め、ミスがないことを最優先しがち。後で批判されないための手続きは完璧、でも「自分の現場」という思いが薄いのです。日本の社員に「自分の現場」を取り戻してもらうには、まず上司が「ゆるさ」「間抜けさ」で部下をマネジメントすることが必要です。正しさ、完全さは仕事のうえではもちろん必要です。しかし、「完全さ」「間違いがないこと」が最大の目的になってしまうと、コミュニケーションの質が劣化し、最終完成品も出来が悪くなる。現場なきサラリーマンは、こうして生まれます。

(参考:「日経ビジネス」:2013 年 4 月 19 日・5 月 6 日号)

人事・労務について

生涯現役社会を作る

清家 篤 (慶應義塾塾長)

1. 日本は世界に類を見ない少子高齢化を経験しつつある。2030 年代には「3 人に 1 人」が 65 歳以上になる。人口の「3 分の 1」にもなる人たちを特別扱いすることはできない。意思と能力のある人がいつまでも働き続けられる社会、すなわち生涯現役社会を作らなければならない。
2. 生涯現役社会を実現させるためには、賃金カーブの修正 (40 歳以降のカーブをよりフラット化する) は避けられない。そのときに問題になるのは、世帯主生活給 (世帯主である男性 1 人が家族全員を養うために必要な賃金) で、今後は個人単位の生活給へと変わっていかざるを得ない。後半部分の賃金カーブをよりフラットにすることで若年層への投資を犠牲にすることなく、高齢者雇用も円滑に進むようになる。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2013 年 5 月 11 日号)

古典に学ぶ

「道」のはたらき

(解説)「道」は、見ても見えないから、「色がない」といおう。聞いても聞こえないから、「音」がないといおう。探っても触れないから「形がない」といおう。こうした感覚ではつきとめられぬもの、個別化を経ぬ一般性、それが「道」だ。上と下との区別もなく、無限にひろがっているもの、そのはたらきは絶えることなく続いているが、そのものが何であるかは明瞭でない。つまり「無」というよりほかに表現のしようがない。状態の判らぬ状態であり、姿の知れぬ姿である。

(参考:奥平卓・大村益夫訳「老子・列子」:徳間書店)